

工業標準等調査審議報告書（制定・改正）

制定・改正の別

制定

工業標準案(制定)・日本工業規格の改正案(改正)の番号及び名称

規格番号 JIS B9631-1

規格名称 印刷関連機器及びシステムに対する安全要求事項―第1部：一般要求事項

改正の場合、現行規格名称

[団体規格を基礎とした場合は団体規格番号及び名称]

主務大臣

経済産業大臣専管

制定・改正の内容等に関する事項

・制定・改正の必要性及び期待効果

JIS B9631（印刷技術―印刷システムに対する安全要求事項）は、ISO 12648（Graphic technology―Safety requirements for printing press systems）が2003年に発行されたときにそれを基に制定している。その後、ISO 12648は、国際規格の体系が見直され、5部編成のISO 12643規格群に置き換わることとなり、まず、ISO 12643-1が2007年3月に、続いてISO 12643-2が2007年4月にそれぞれ発行された。

当該規格が適用される印刷産業機械業界は、輸出の割合の多い業界で、国内の製造業者及び使用者から早急にJIS化する必要があり、さらに、国内ユーザからも安全上の見地から同様にJIS化を要望している。このため、ISO 12643シリーズに規格体系も合致させたJISを制定する必要がある。

なお、この規格及びJIS B9631-2の制定に伴い、JIS B9631:2005は廃止することになる。

この規格を制定することによって、国際規格の体系との整合化が図られるほか、ユーザの安全性が向上することが期待される。

・規定項目又は改正点

主な規定項目は、次のとおりである。

1. 適用範囲
 2. 引用規格
 3. 用語及び定義
 4. 規格の効力発生期日
 5. 重大な危険源の防護
 6. その他の危険源に対する保護のための規定
 7. 危険な状態からの解放
 8. 制御区域
 9. 制御器
 10. 操作盤
 11. 制御システム
 12. 指示器及びアクチュエータに関する人間工学設計及びラベル付け
 13. 警告信号及び警告装置
 14. 警告標識及び警告ラベル
 15. 取扱説明書の内容
- 附属書C（規定）領域警告灯システム

原案作成に関する事項

原案作成機関名 社団法人 日本印刷産業機械工業会
特定標準化機関以外
財団法人 日本規格協会
特定標準化機関以外

- ・ 原案作成区分
法 12 条による
- ・ 原案作成委員会の構成表及び開催状況
別紙に記載のとおり。

日本工業標準調査会の審議に関する事項

- ・ 部会名：標準部会（部会長：二瓶 好正）
- ・ 専門委員会：産業機械技術（専門委員長：小林 英男）
- ・ 審議経過
WG 議決年月日 年 月 日
専門委員会議決年月日 年 月 日
部会議決年月日 年 月 日
- ・ 審議中問題となった点

国際流通への影響に関する事項

- ・ 対応する国際規格及びそれらの規格との整合性
国際規格番号 ISO 12643-1:2007 整合性 MOD
- ・ 既制定の類似・関連 JIS との関係
2005年にISO 12648（印刷技術—印刷関連機器及びシステムに対する安全要求事項—印刷機械及びシステム）がJIS B 9631としてJIS化されたが、その後ISO/TC 130国際会議において、ISO 12648の内容及び体系が大幅に見直され、2007年にISO 12643-1、ISO 12643-2として2つの規格として制定された。今回、JIS B 9631:2005を廃止し、JIS B 9631-1とJIS B 9631-2とに分割し、置き換える。
- ・ 関連する強制法規
無
- ・ 関連する公共調達基準
無
- ・ 工業所有権等知的財産権
無